

# 自主防災通信

2024 VOL.1  
ガーデンシティ狭山  
自主防災委員会発行  
編集：BOUSAI TASK

## 在宅避難に重要な「初期消火」 火事の恐さを理解した防火訓練を

去る10月27日(日)に、狭山市水野分署の消防士さんたちの協力を得て、昨年に続き自主防災訓練を実施。今回はガーデン敷地内にて「在宅避難の際の初期消火の重要性」をテーマに、消火器の使用法と各棟に設置された消火栓の説明などの防火訓練が中心となった。



▲設置された消火栓の使用法を消防士から学ぶ参加者



▲各住戸に配布済みの簡易トイレキットの使用法実施



▲備蓄品サンプルと災害時に便利なグッズを展示



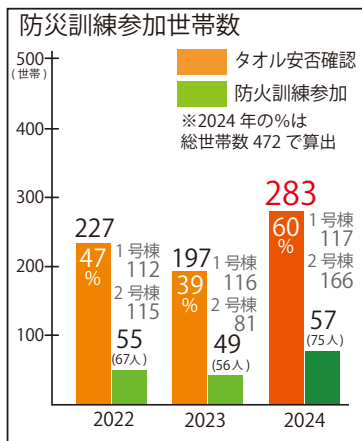
▲午後の2部では映像とレクチャーで対策を説明

今年8月の新宿歌舞伎町のビル火災や、最近の船橋で起きた8階建てマンション火災など、地震だけではなく一瞬で命も財産も失ってしまうビル火災の怖さも他人事ではないと感じられることが多くなりました。

住民の皆さんの目の前で訓練を体験してもらおうことが出来ました。移動無しが理由かどうかはわかりませんが、今年右のグラフでもわかるように、わ

ずかですが過去2年よりも参加者は増えました。今後も高齢化が続くガーデンの居住者に対応した訓練のやり方を模索していこうと考えています。

今年8月の新宿歌舞伎町のビル火災や、最近の船橋で起きた8階建てマンション火災など、地震だけではなく一瞬で命も財産も失ってしまうビル火災の怖さも他人事ではないと感じられることが多くなりました。



また、今回初めての試みとして、午後にもキウイ柵の下で地震災害や火災に対応した映像と講義を行いました。休日午後の時間帯と強風の影響もあつて、参加者は14人と少なかつたですが、内容の濃いレクチャーだったことを考えると、もっと多くの方にも観て聴いてもらえるタイミングを考えて、今後も行っていこうと考えています。



ガーデンシティではここ数年、災害時の対策として「在宅避難」を推奨しています。この在宅避難で欠かせないのが、「自助」と「共助」です。国や市に頼るのではなく、自分たちの暮らしは自分たちで守る——そのための一環として避難訓練を行っています。今回の避難訓練は、例年のような御狩場小学校に移動しての訓練ではなく、ガーデンの敷地内で行うことで、

実施内容としては、例年のタオルを使った安否確認から始まり、防火訓練として、各棟に設置されている消火栓の使い方と消火器の噴射訓練を消防士さんの協力で行いました。また、在宅避難に必要な備蓄品サンプル展示、ソーラー充電の便利グッズの紹介やライフラインが回復するまでの簡易トイレの使い方などの説明に、多くの参加者が真剣に聴き入っていました。